

別記様式(第9条関係)

(その1)

政務活動費収支・実績に関する報告書

令和6年4月30日

(宛先)飯塚市議会議長

会派名
経理責任者名
(又は議員名 深町 善文)

令和5年度 政務活動費収支・実績に関する報告について

飯塚市議会政務活動費の交付に関する条例第9条第1項の規定により、次のとおり
令和5年度 政務活動費 収支・実績報告書を提出します。

令和5年度 政務活動費収支・実績に関する報告書

1 収入
政務活動費 440,000 円

【内訳 40,000円×11月】

2 支出 422,109 円

3 残額 17,891 円



(その2)

(単位：円)

項目	金額	内訳		備考
		科目	金額	
研究研修費	0	会場費	0	
		講師謝金	0	
		出席者負担金・会費	0	
		交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
調査旅費	0	交通費	0	
		宿泊費	0	
		その他の経費	0	
資料作成費	0	印刷製本費	0	
		翻訳料	0	
		事務機器等購入費	0	
		リース代	0	
		その他の経費	0	
資料購入費	0	資料購入費	0	
広報費	422,109	広報紙等印刷製本費	266,400	
		送料	155,709	
		会場費	0	
		その他の経費	0	
広聴費	0	会場費	0	
		印刷製本費	0	
		その他の経費	0	

備考

- 1 備考欄には主たるものを記入すること。
- 2 領収書その他具体的に支出の内容を明らかにした書面の証拠書類を添付すること。

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 深町 善文)

(広報費、No.1)

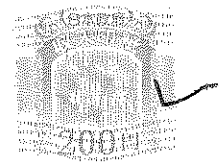
(領収証等貼付箇所)

領 収 証

5 年 11 月 15 日

深町善文 様

金額		百万	十万	万	千	百	十	円
		7	2	6	6	4	0	0



但し印刷代金として税合
上記の金額正に領収いたしました

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
手形	<input type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>

有限会社 嘉麻綜合印刷

〒820-0068 飯塚市片島1丁目10番地
TEL (0948) 22-0898
FAX (0948) 28-0864



政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 深町 善文)

(広報費、No.2)

(領収証等貼付箇所)

深町善文 様

Kp

請求書

令和5年 10 月 27 日

下記のとおり納品いたします。

(有)嘉麻綜合印刷

取締役 木塚 敏子

〒820-0068 福岡県飯塚市片島1丁目10-14
Tel 0948-22-0898 / Fax 0948-28-0864

合計 ￥49,500 — 円也

取引銀行/飯塚信用金庫 本店営業部 普 1064213

品名	呼称	数量	単価	金額
長3パステルアクア80g 1/0横	枚	3000		45000
			消費税 10%	4500
			合 計	49500

深町善文 様

Kp

納品書

令和5年 11 月 6 日

下記のとおり請求いたします。

(有)嘉麻綜合印刷

取締役 木塚 敏子

〒820-0068 福岡県飯塚市片島1丁目10-14
Tel 0948-22-0898 / Fax 0948-28-0864

合計 ￥216,900 — 円也

取引銀行/飯塚信用金庫 本店営業部 普 1064213

品名	呼称	数量	単価	金額
活動報告書A3カラー コート73㌘ 2つ折後z折	枚	3000	63	189000
			消費税 10%	18900
			合 計	216900

政務活動費 領収証等添付用紙

(会派(議員)名 深町 善文)

(広報費、No.3)

(領収証等貼付箇所)

領収書

深町善文 様

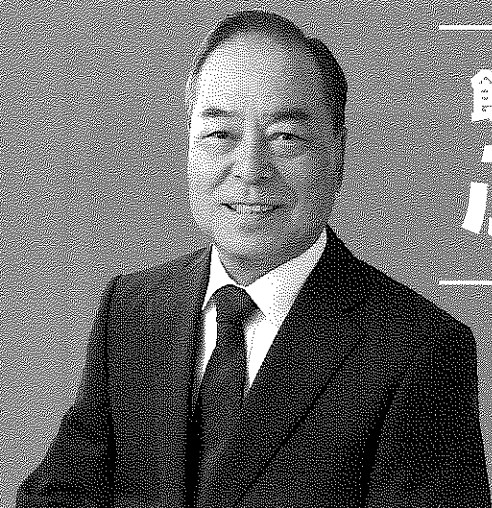
[別納引受]	
区内特別基(定)	16.0g
@73 2.133通	¥155,709
小計	¥155,709
郵便物引受合計通数	2.133通
課税計(10%)	¥155,709
(内消費税等(10%))	¥14,155)
非課税計	¥0
合計	¥155,709
お預り金額	¥160,000
おつり	¥4,291

印紙税申告納
付につき麴町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2023年11月20日 14:26
発行No. 231120A5350 端N89箱01
連絡先: 穂波小正郵便局
TEL: 0948-22-0991

=くらしの声を市政に届けます=



飯塚市議会議員 よしふみ
ふかまち善文

**活動
報告**

〒820-0079 飯塚市高田654番地 発行責任者 深町善文
TEL&FAX 0948-24-2926 2023年11月(第4号)

決意も新たに2期目の活動を開始! 今後とも過疎化・高齢化の課題に取り組みます

陽だまりが恋しい今日この頃、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。私はこの度、2期目の当選を果たすことが出来ました。

6月の議会を最後に9月27日にお亡くなりになりました片峯誠市長に哀悼の意を込め、謹んでお悔やみ申し上げます。片峯市長は行政と議会との関りにおいて、常に緊張感をもって対応され、本議会では真摯にご答弁を尽くしておられました。本当に残念です。

定住・移住の促進で地域の活性化を図ります

今年度の議会の状況としては6月20日から定例会が始まりました。議案の主なものには電気・ガス・食料品等の値上がりによる物価対策に生活応援クーポン券の支給が実現し、その他には筑穂地域の日鉄鉱業跡地に工場団地開発の為の調査費用計上が可決されました。次に9月5日の定例会で私は一般質問に立ち身近な問題である自治会・自主防災組織のあり方、民生委員の活動について質疑を行いました。

私はこれから2期目の議員活動に入りますが、1期目と同じく経済建設委員会に所属しました。引き続き取り組む課題には、過疎化や高齢化による農業インフラ整備・耕作放棄地に伴う鳥獣被害の防止等があります。農業者の声を聞き行政との橋渡しをきめ細かに行っていきませんが、農業問題にかかわらず、市民の皆様のご困りごとに耳を傾け、市政に反映していきますので遠慮なく声をかけて下さい。

八木山バイパスの4車線化は令和6年度に篠栗～筑穂IC間が実現し、令和11年度には穂波東ICまで開通することになりました。筑穂IC・穂波西ICは福岡市から飯塚市への玄関口としての役割を担うこととなります。近隣地元にとっては大きなチャンスととらえ、移住・定住を進めていかねばならないと強く思っています。

『議員定数のあり方』について活発な議論を…

4年前から議員定数のあり方について、様々な意見が交わされてきました。令和5年6月の定例会で「議員定数調査特別委員会」の設置が決まり、現状の議員定数28議席を維持するのか、削減するのかアンケート調査をはじめ、有識者への意見聴取を実施することになりました。この問題は民主主義の根幹に関わるものであり、主権者である市民の皆様にはそれぞれメリット・デメリットをよく理解して頂き、判断をしてもらいたいと思います。

最後になりますが、ようやくコロナ禍前の生活に戻つつありますので、今後は皆様の声を聞く機会を更に増やし、くらしの声を市政に届けていきます。



令和5年9月定例会より

主な活動報告

◇ 災害復旧への取り組み

7月9日に発生した北部九州の豪雨により、高田校区内でも土砂崩れ被害が発生。直ちに現場確認の上、市に対して復旧を依頼しました。

★舍利蔵(五反田 松口)

土砂崩れが2箇所発生。これまでも大雨時に再三崩壊していて、1箇所は約30mの幅で崩落。土砂が農道・用水路を塞ぎ、近隣の田んぼに流入。

2箇所とも7月末迄に工事完了。

★高田(高田1108番地 裏)

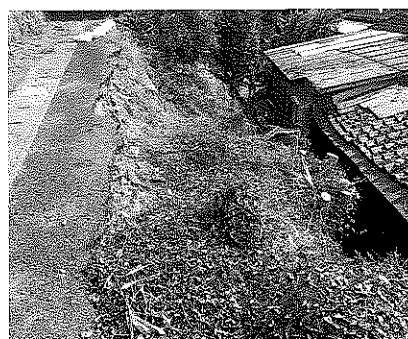
道路の一部が崩壊。土砂・立木が流れ、住宅裏まで迫る。現在では、土砂を取り除き、立木は伐採したものの応急措置であり、アスファルト下の土砂がえぐられていて、車両の通行もできない状態。

工事完了は令和6年3月末を予定。

舍利蔵：がけ崩れにより、田へ土砂が流入



高田：市道法面が崩壊し、土砂が住宅に迫る



◇ 第85回全国都市問題会議に参加 青森県八戸市公会堂文化ホールで開催(10月12～13日)

今年の全国都市問題会議には、全国から1810名が参加し、飯塚市から15名が出席。今年『文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展』をテーマに各地域の取組みが紹介され、各界の有識者の講演・パネルディスカッションが行われました。今回の会議を通して飯塚市の身近な地域文化への気づきと、文化施設の運営を更に進化させていくことの重要性を強く再認識させられた全国都市問題会議でした。



ユネスコ無形文化遺産
『八戸三社大祭』山車の前で

◇ 総務・経済建設委員会 *委員として議案の審査、所管案件についての事務調査などを行いました

★総務委員会

令和5年3月9日 議案 第20号 飯塚市一般職員の給料表を参考にして、会計年度任用職員の給料表を改定することについて、審議を行いました。

議案 第28号 非常勤消防団員の報酬額の改定等、関係規定の整備について、審議を行いました。

★経済建設委員会

令和5年7月3日 議案 第47号 県知事より飯塚市立病院が地域医療支援病院として承認されたことに伴い、健康保険法の規定により、医療に係わる利用料金が改定されることについて、審議を行いました。

令和5年度 9月定例会 深町善文一般質問

令和5年9月5日飯塚市議会定例会で1、自治会への加入率促進、役員のなり手不足の解消 2、自主防災組織の設立、運営支援 3、民生委員児童委員の欠員問題と認知度向上について質問しました。

質疑の中では特に自治会の課題について、自治会の存続は地域自治の根幹であることを訴え、自主防災組織の運営、支援については、市と市民が防災意識の共有を図ることができるよう、最大限の取組みと課題の解決を強く要望しました。

《質疑の要約》

1、自治会加入率の向上と、役員のなり手不足を解消し地域の活性化を！

(深町) 昨年6月の一般質問で自治会の加入率について伺い、その当時53.7%と聞きました。現状はどのようになっていますか？

(回答) より実態に近い数値では現状57.5%となっています。同規模の全国自治体の平均が63.7%であり、下回っている状況です。

(深町) 本市の加入率は全国水準からも非常に低く地域の衰退につながっていくのではないかと懸念されます。今後の取り組みは？

(回答) これまでも交流センターを中心にポスター掲示・パンフレットの配布等、啓発・案内活動を行っています。また市役所窓口でも転入者に対して随時加入案内を行い、さらに自治会加入促進部会では自治会が防犯活動の一環を担っていることを周知する取り組みを行っています。今後子育て世代の若者をターゲットに、SNSや動画共有サイトで発信すること等を計画し、多くの方にこの取り組みが目にとまることを期待しています。

(深町) 自治会加入者が増えない問題と共に『自治会役員になりたくない』という意見もよく聞きます。役員のなり手不足について、市はどのように考えておられますか？

(回答) 役員のなり手不足の問題は市でも認識しています。自治会が今後も持続していくためには、若い世代の加入の促進や、地域イベントなどを通して地域住民同士のコミュニケーションを図り、自治会への参加意欲を高めることが大事と考えています。一概には言えませんが、やはり自治会の加入者を増やすことではないでしょうか。

(深町) 地域が活性化するためには、自治会に多くの方に加入していただくことが重要であり、継続的な自治会運営が行われるような取り組みを行ってもらうことが大切です。

ぜひ、今一度課題を整理し、自治会運営が良好なモデル地区や他市の取組みについても参考にしながら、加入率増加に向けて調査研究を進めていただきたい。

2、自主防災組織の設立、運営支援について

(深町) 飯塚市第2次総合計画では2026年度までに自主防災組織活動100%を目指す、となっていますが、設立団体数、カバー率について福岡県内各市との比較で飯塚市の立ち位置を伺います。

(回答) 令和5年7月末現在、設立団体数は26団体(学校区12、自治会単位14)となっていて、カバー率88.8%。県内平均値が91.5%となっていることから、やや低いと言えます。

(深町) 自治会における自主防災組織の設置数が少ないと思うが、何か課題があるのでしょうか？

(回答) 本市においては自治会単位の設置目標は示していないので、現在課題などは把握できていません。今後、自治会連合会の理事会に防災部会があるので、連携を図り課題の把握などに努めていきます。

(深町) 災害時の避難行動要援護者支援等を円滑かつ迅速に行うためには、自治会レベルの設置団体数を増やすことが重要ではないでしょうか？

(回答) 自治会において設置いただくことは非常に重要ですが、高齢化が進む自治会の体力にも限りがあります。避難行動要援護者の支援については自治会を含み、福祉サービス事業者等との連携など、様々な形での避難支援等が必要と考えています。

(深町) 今後、過疎化・高齢化が進む地域では災害時に自助・共助ができずに、多数の要救助者が発生することが考えられます。助けられた命が助からなかったという事がないように、市は最大限の取組みを実施していただきたい。

(次ページに続く)

3、民生委員のなり手不足への対策と認知度向上を要望

(深町) 民生委員児童委員(以下民生委員)は地域福祉において、その活動は重要なものですが、民生委員のなり手不足が問題視されています。各地区の充足率の現状と対策をお尋ねします。

(回答) 令和5年8月1日時点で市全体では定数272人に対し18人の欠員があって充足率は93%です。地区別では穂波地区に欠員が多く充足率は87%で7名の欠員となっています。取組みとしては地域関係団体への候補者選出依頼、新任委員へのフォローアップ資料配布、警察署・消防署・小中学校校長会に連携強化をお願いしています。

(深町) 重要な役割を担っている民生委員の市民への認知度はどのようになっていますか？

(回答) 令和4年の調査では民生委員を知っていると答えた方は27%、知らないと答えた方は67%でした。認知度アップのために「民生委員の日」を市報・ホームページに掲載し、イオン飯塚店での広報展開等行っています。今後も民生委員を広く知っていただき、未来の人材の裾野を広げたいと思います。

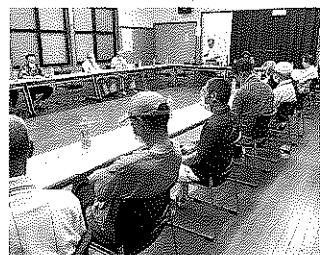
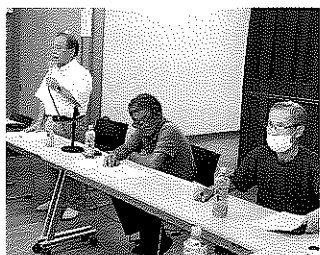
(深町) 担い手不足には各地区により課題や対策があるかと思えます。これからも民生委員の声に耳を傾け改善に取り組んでもらいたい。

市政報告会を開催

令和5年9月2日(土)津原公民館で市政報告会を開催。今回はコロナ禍の収束の兆しから、高田校区代表者に集ってもらい、実施致しました。

報告会では6月の定例議会で議長選挙が行われ、江口議員が選出されたことや物価高対策(給付金の支給)等の補正予算が承認されたこと、筑穂地域の日鉄鉱業跡地への企業誘致に向けての調査費用が計上されたこと等、説明がありました。

また、令和5年2月22日、市長から令和5年度の施政方針で『八木山バイパス4車線化に伴い、市内各地域の交通網強化を図る為、穂波西ICのフル規格化の実現に対して更なる要望を行ってまいります』との発言があった旨、紹介がありました。



最後に深町議員から『2期目を迎えたが、これまでの4年間の経験を活かして地域の要望にしっかりと取り組みたい。地域の課題は何と言っても高齢化と過疎の問題であり、さらに農業問題、環境問題と思っています。』

若い人に定住していただき環境を守っていくには定住と住宅の確保です。定住にはやはり交通インフラの整備です。穂波西ICのフル規格化、県道飯塚穂波線をはじめ再度要望実現に向けて、今後も皆さんと一緒に進めたいと思います』との決意表明を行いました。

八木山バイパス4車線化実現間近に… 令和6年 篠栗ICから筑穂ICまで開通

- 令和11年までには
篠栗～穂波東IC間、全線開通。
- 全線開通に向けて地元地区の工事も始まり、令和6年以降、本格的な工事に着工します。



完成した八木山バイパス
篠栗側(山手)高架橋



地域に民生委員がないという事は、住民サービスの欠如に繋がるだけではなく、欠員地区をカバーする民生委員の業務負担を招くなど、地域福祉増進の妨げとなります。
課題解決のためにも、行政を取り巻く諸団体が協力して取り組んでもらいたいと思います。

私は令和3年8月から民生委員児童委員(以下民生委員)をしています。現在、定例会議への参加、一人暮らし高齢者への見守り活動、子どもたちの見守り活動、自主防災会等の活動を行っております。
近年、超高齢化社会の中で、民生委員の定員割れの状態が続き、悪化しています。そのためにも自治会の加入率向上は課題の一つですが、行政が音頭をとり自治会連合会・社会福祉協議会・まちづくり協議会そして民生委員児童委員協議会が連携し対応することが、非常に重要です。

民生委員の活動について
久留見昌彦(津原)氏
からご意見を伺いました